



令和2年度

# 短時間就業支援事業事例集



# 目次

はじめに .....	P3
<b>株式会社アレグロ</b> 実習生の特性に合わせて伝え方を工夫 実習生も社員も成長した .....	P4
<b>エス・ユニット株式会社</b> 特性に合わせて柔軟に対応し、作業効率アップ 障害者雇用の壁が低くなった .....	P6
<b>有限会社山本薬品商会</b> 実習生の働く姿勢が、社員の刺激になった 戦力として障害者雇用を検討していきたい .....	P8
<b>株式会社マルハニチロリテールサービス</b> 実習を通して自社の課題に気づいた ノウハウを蓄積し、雇入れを実現したい .....	P10
<b>株式会社コータロー</b> 障害のある方のパフォーマンスを引き出し、 企業の成果につなげることが大事だと感じた .....	P12
<b>株式会社フラッグシップオーケストラ</b> 実習を通して、アウトソーシングとの違いを把握 実習生の丁寧なチャットの受け答えが勉強になった .....	P14
<b>ボーダレスキャリア株式会社</b> テレワークで離れていても、同じ目標を目指す 仲間という意識を持つことができた .....	P16



# はじめに

平成30年4月から、精神障害者が雇用義務の対象に加わり、民間企業の法定雇用率が2.2%となり、令和3年3月には2.3%まで引き上げられました。

東京都では、今後一層の障害者雇用を推進していくことを目的に、令和元年度及び令和2年度に、短時間の職場体験実習の受入れを通じ、フルタイム就業が困難な障害のある方の働く場を開拓するとともに、障害者雇用の経験が少ない中小企業が、障害者雇用を進めていくためのきっかけづくりを支援する、「短時間就業支援事業」を実施しました。

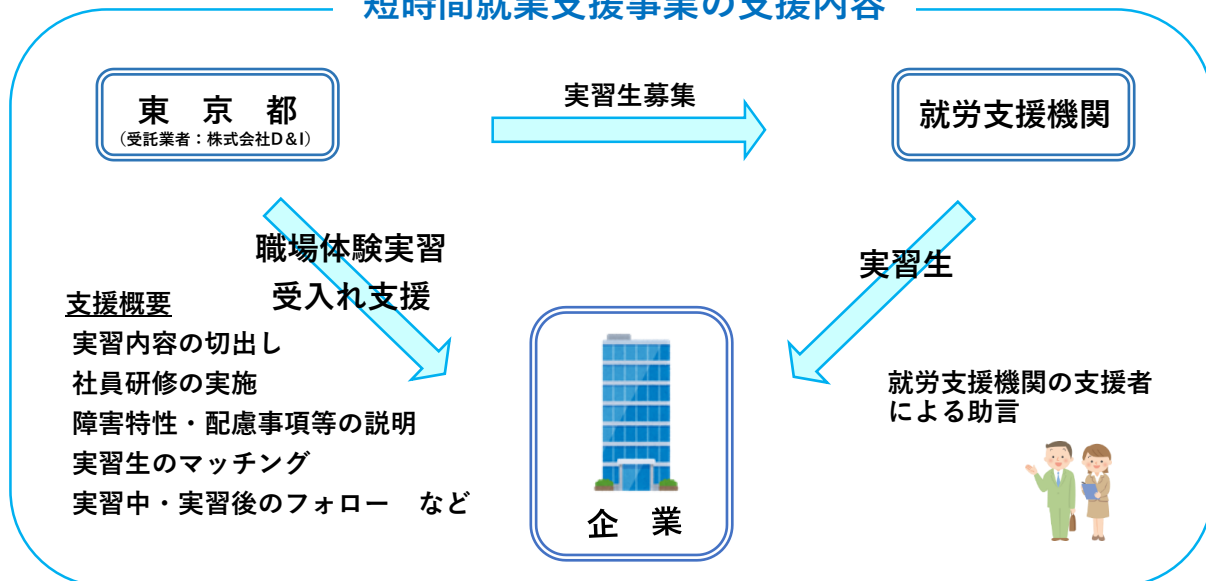
本事例集では、この事業を活用し、障害者雇用を経験された企業の皆様の、実習生を受入れる前の準備や工夫、また、実習中・実習後の気づきや感想等を紹介しています。

本事例集が、障害者雇用を検討する企業の皆様の一助になれば幸いです。

令和3年5月

東京都産業労働局雇用就業部就業推進課

## 短時間就業支援事業の支援内容



# 株式会社アレグロ

## 実習生の特性に合わせて伝え方を工夫

### 実習生も社員も成長した

当社は立体造形物などの制作を行っており、業務の中に沢山の手作業があります。これらの手作業は障害者雇用に向いていると思います、実習を通して、障害者雇用に対する社内理解を促進していきたいと考えました。また、多くの社員が障害のある方とかわる機会を作り、社員の多様性への気づきや自己成長のきっかけにしたいと思いました。実習内容には、刃物を使用する作業等もあり、安全確保のために、障害特性に合わせて伝え方を工夫しました。2名の実習生を同時に受入れ、様々な種類の業務を行いました。実務経験を積んでいけば問題なく仕事ができると感じました。



### 実習の流れと工夫

#### 実習内容の検討・決定

- ・失敗しても問題のない業務を切り出す。
- ・難易度の低い作業から高い作業まで切り出す。
- ・2名の実習生が協力して行う作業も準備。

#### 実習生の決定

- ・それぞれの実習生について、障害特性や配慮事項、業務指示の方法などを支援者から事前共有。

#### 担当社員の教育

- ・実習初日の朝礼にて、社員全員に紹介。
- ・障害特性に合わせて、説明の仕方を工夫。
- ・難易度の低い作業から徐々に難易度の高い作業に移行。
- ・実習生と社員と一緒に昼食をとり、コミュニケーションの機会に。

#### 実習開始



### 実習を通して気づいたこと

準備した実習内容の中には、刃物を使用する業務等、使い方によっては危険を伴う作業もあったため、作業によって、どの程度お任せしてよいのかわかりませんでした。



実習生に業務を説明する時は、普段、当たり前と思っていることも、しっかり言葉にして伝えていきました。何をどこまでお任せするか、判断することは難しかったですが、一つ一つ丁寧に教えていくことで、難しい作業も行っていただくことができました。また、障害があるからといって特別扱いせず、改善が必要な部分はしっかり指摘するようにしました。実習中は現場にいる社員が実習生を見守る等、社員にも良い影響があったと思います。



## 実習内容

- 3Dプリンターで出力した物の研磨作業
- 発泡スチロールで作った造形物の研磨作業
- チェーン編み など

### 実習時間

10:00～15:00（5日間）

様々な種類の作業  
をしました。



実習生  
の声

「報連相」を意識  
して取組みました。

20代（知的障害）

気になったことは質問をして、自分なりに工夫をして作業をすることができました。

長所を活かすこと  
ができました。

20代（知的障害）

様々な種類の実習を経験し、「自分の長所を活かして働く」ということが少し分かってきました。

企業  
の声



お互いに歩み寄ることが  
必要だと感じました。

代表取締役 成本 亮さん

実習を通して、障害者雇用を進めるためには、障害のある方と企業側が、お互いに歩み寄ることが必要だと感じました。また、障害のある方の状況に合わせ、会社のルールを柔軟に運用することで、働く環境の整備ができると思いました。実習後、実習を担当した社員が管理職として大きく成長していることに気がつきました。今後も定期的にこのような実習を受入れ、社内理解を深めていきたいです。

担当者  
の声



実習生の特性に合わせて  
伝え方を工夫しました。

造形部 古賀 祐次郎さん

当社の業務は危険を伴う作業もあるので、安全面の確保が重要です。実習では、どのようにしたら実習生が理解しやすいかを考え、道具の使い方を一緒に使いながら教えたり、作業で使う液体を誤飲しないよう、きちんと言葉に出して説明する等、伝え方を工夫しました。様々な種類の実習を行いました。しっかりと作業していただくことが、実務経験を積んでいけば、障害があっても問題なく仕事ができると感じました。

## 企業情報



株式会社アレグロ

所在地 東京都豊島区池袋3-16-13

代表者 代表取締役 成本 亮

設立 1991年

資本金 1,000万円

従業員 50名（2021年3月現在）

事業内容

- 立体造型物の企画・デザイン・制作
- イベント等の企画・デザイン・施工
- 各種キャラクター着ぐるみ製作

# エス・ユニット株式会社

特性に合わせて柔軟に対応し、作業効率アップ°

## 障害者雇用の壁が低くなった

当社で行っているPrinting & Packaging事業では、袋詰め等の短期間で大量に行う業務が発生するため、これまでも労働力の確保の必要性を感じていました。印刷業界はシンプルな作業が多いため、障害者雇用との親和性が高いのではと思っていましたが、知識も経験もなかったため、実習生を受入れ、今後の検討材料にしようと思いました。はじめは、障害のある方への接し方や、どれくらい仕事ができるのかわかりませんでしたが、支援者からのアドバイスや、実習中の様子を見ながら柔軟に対応しました。今後も障害者雇用に向けて、知識や経験を積み重ねていきたいと思います。

### 実習の流れと工夫

#### 実習内容の検討・決定

・作業工程の少ない、シンプルな業務を切り出す。

#### 実習生の決定

・実習生の障害特性や、障害による症状が出た時の対処方法について、支援者から担当社員に事前共有。

・実習中に障害の症状が出た際、実習担当者から実習生に対処方法を行うよう声かけ。

#### 担当社員の教育

・実習の振り返りで、会話をしながら作業する方が障害の症状がでにくいことがわかる。

・可能な範囲で会話を取り入れながら作業を行い、作業件数がアップ。

#### 実習開始

### 実習を通して気づいたこと

障害のある方の受入れが初めてだったため、障害のある方がどれくらい仕事ができるのか、また、接し方や声かけの方法もわからず、不安がありました。

実習前に、支援者から実習生の障害特性や配慮事項等を伺うことができ、接し方が分かったので、少し安心しました。実習中は、実習生が作業の進捗状況や体調の変化等について、自己発信してくれたので、当初の不安はなくなりました。実習の様子を見ながら、より責任のある作業も追加で切り出して実習を行いました。しっかり対応してくれました。また、実習の振り返りで、会話を取り入れた方が障害の症状が出にくいことがわかったため、可能な範囲で対応しました。実習生の元気な挨拶がとても気持ちよく、実習担当者以外の社員にも良い影響がありました。

## 実習内容

- エコバックの袋詰め作業
- 段ボールでの資材運び
- 資材のカウント作業
- 段ボールの組み立て
- 段ボールの計量 など

### 実習時間

10:00～15:00 (5日間)

5日間で、  
800枚以上の  
袋詰めをしました。



実習生  
の声



就職後も仕事を通して  
人の役に立ちたいです。

20代 (統合失調症)

初めて5日間という長い期間の実習を行い、とても良い経験になりました。実習を通してできたことは、報連相です。報連相をこまめに行うことで検品作業の時間を短縮することができ、業務の効率化に繋がりました。また実習の後半は、作業内容を学習し、自己判断ができるようになりました。今後は仕事を通して人の役に立っていきたいです。

企業  
の声



ダイバーシティの力を実感  
する良い経験ができました。

代表取締役 澤井 完治さん

実習生には、最初に計画していた実習内容に加え、最終日には少し責任のある作業も行なっていました。当社は障害者雇用の実績がないため、障害者雇用に関する知識が少なく、これからも勉強していく必要があると感じています。今後は障害のある方の力も借りながら、事業を行っていきたいと考えています。障害者雇用の障壁が低くなり、ダイバーシティの力を実感した、意味も価値もある実習となりました。

担当者  
の声



今後も様々なチャレンジ  
をして欲しいです。

実習担当 中里 優花さん

実習生が、自分から何かできることはないか聞いてくれ、とても助かりました。新しい仕事でも冷静に対応できると思うので、これからも様々な仕事にチャレンジして欲しいです。

### 企業情報



エス・ユニット株式会社

所在地 東京都文京区本郷

3-9-11-302

代表者 代表取締役 澤井 完治

設立 2001年1月

資本金 700万円

従業員 4名 (2021年3月現在)

### 事業内容

- Printing & Packaging事業
- 事業承継事業
- ものづくり次世代継承事業

# 有限会社山本薬品商会

## 実習生の働く姿勢が、社員の刺激になった

### 戦力として障害者雇用を検討していきたい

CSRやダイバーシティの推進、新型コロナウイルス感染症の流行等、外部環境の変化が激しい中、様々な働き方や人材の確保に向けた取組みが必要だと感じていた時に、短時間就業支援事業と出会いました。薬品卸業界は人材の流入や外部業界との交流が少ないため、実習生の受入れが、組織の活性化に繋がるのではと思いました。また、当社には紙の書類を扱うルーティンの作業がたくさんあり、こういった作業は実習に向いているのではないかとも思い、挑戦することにしました。実習中、実習生の丁寧な仕事ぶりや元気に挨拶する様子を間近に見て、安心して業務をお任せすることができ、戦力になることがわかりました。誠意をもって仕事に取り組む実習生の姿勢が、社員の良い刺激になりました。

#### 実習の流れと工夫

##### 社内周知

- ・社長及び社員全員に対し、実習受入れの目的や意義を説明。
- ・社内の理解を得るとともに、受入れに対する疑問点等を洗い出す。

##### 実習内容の検討・決定

- ・危険を伴う可能性のある、試薬を保管している倉庫での業務は行わないというルールを定める。
- ・付箋作成等、事務室内で作業が可能な業務を切り出す。

##### 実習生の決定

- ・日々の作業数を記録し、実習の成果を可視化したことで、実習生の意欲がアップ。
- ・実習開始前の時間に、実習担当者以外の社員も実習生とコミュニケーション。

##### 実習開始

#### 実習を通して気づいたこと

実習生には、どのような障害があって、その障害の状況に対応できるのか、また、フォロー体制を整えることができるのだろうか、と実習生の受入れに慎重になる部分がありました。

事前に実習生や支援者の方から障害の状況や配慮事項等を伺い、実習生に指示出し等を行う担当者を決めて実習に備えました。実習生は、毎日、実習の開始時間に余裕をもって入社、仕事の質もスピードも共に申し分なく、戦力になると確信しました。また、実習中に当社に訪問された取引先の方々にも、気持ちの良い挨拶をしてくれました。社員の障害のある方への印象が大きく変わり、「自分達も頑張ろう」と思う良い機会となり、社内の士気が上がりました。



## 実習内容

- 付箋作成
- 請求書への押印作成  
など

### 実習時間

9:00～12:00 (5日間)

日を追うごとに、作業スピード  
が速くなりました。



実習生  
の声



社員の皆さんに感謝され  
たことを誇りに思います。

20代 (発達障害・てんかん)

実習前に、「通所している就労移行支援事業所で行っている訓練を活かす」という目標を立てました。付箋の作成業務は、事務補助の訓練内容を活かし、自分なりに、より早く質の高いものを作るため、工夫しながら作業を行うことができました。また実習を通して自分の課題にも気づくことができました。課題である報連相は難しいですが、どのタイミングで行えば良いか勉強になりました。この実習で就職に対する意欲が高まりました。今回の経験を就職活動に活かしていきたいです。

企業  
の声



社員の意識が変わる、非常  
に良い経験となりました。

営業部 部長 高野 吉知さん

実習生を受入れる上で最も重視していたのが、実習生と信頼関係を築くことができるかどうかでした。実習前は不安もありましたが、実習生の元気な挨拶や、質もスピードも伴う仕事ぶりを見て、安心して業務をお任せできることが分かり、信頼関係を構築することができたと思います。実習を担当した社員からも、実際に戦力となってもらえる、丁寧な仕事ぶりでもとても助かったというコメントがありました。実習生の仕事に取り組む様子を見て、担当者以外の社員も非常に良い刺激を頂きました。障害者雇用という概念がなかった当社の雇用環境に新たな選択肢が増え、障害のある方の雇用に対する理解が進みました。今後は、義務としてではなく、戦力としての障害者雇用を念頭に検討していきたいです。

## 企業情報



山本薬品商会

有限会社山本薬品商会

所在地 東京都文京区本郷1-8-18

岡戸ビル1F

代表者 代表取締役 山本 良文

設立 1972年12月

資本金 300万円

従業員 11名 (2021年3月現在)

事業内容

- 研究用試薬の卸売り販売
- 研究用消耗品機器の卸売り販売

# 株式会社マルハニチロリテールサービス

## 実習を通して自社の課題に気づいた ノウハウを蓄積し、雇入れを実現したい

当社は、工場での障害者雇用の経験はありますが、本社では障害者雇用の経験がありませんでした。工場で新たな雇入れを検討していましたが、現場の理解を得るためには、本社で障害者雇用の実績を作ることが必要だと思いました。実習で行う業務については社内でアンケートを実施して、内容を決めましたが、実際に実習生にレクチャーしていく過程で、業務工程の複雑さに気づき、改善する必要があることが分かりました。今後も実習の受入れを行い、ノウハウを積み、本社での雇用を実現させていきたいと思います。

### 実習の流れと工夫

#### 実習内容の検討・決定

・受入れ部署内の社員に対し、担当業務の中で「コア業務でないもの」、「やりたいけれど後回しになっている業務」等について、アンケートを実施し業務を切り出す。

#### 実習生の決定

・切り出した業務について、「業務発生頻度」、「業務にかかる時間」、「難易度」、「必要なPCスキル」等をリスト化し、発生頻度が高く、難易度が低い業務の中から実習内容を選定。

#### 担当社員の教育

・支援者から業務の指示出しの方法や、障害の症状が現れた場合の対処方法について事前共有。

#### 実習開始

・実習生の働きぶりを間近で見ることで、社内理解を促進。

### 実習を通して気づいたこと

実習生にお任せする業務の切り出し方や、切り出した業務のレクチャーの仕方など、障害者雇用のノウハウがありませんでした。

業務の切り出しは、時間をかけてじっくり取り組みました。実習担当者だけではなく、受入れ部署内でアンケート方式で業務を切り出し、その中から、難易度などを考慮し、実習内容を決定しました。支援者からのアドバイスを基に実習生に業務の説明を行いました。説明していくうちに、業務工程の複雑さに気づき、業務フローをもっと簡略化していくことが必要だと分かりました。また、社内全体の課題として、仕事内容が属人的になっていることにも気づいたので、今後は、社内の業務の標準化も進めていきたいです。

## 実習内容

- 社内情報の定期発信
- 新聞の持ち込みと回覧
- 現金照合表のチェック
- 経理伝票/伺書類のファイリング
- エクセル各種データ入力 など

### 実習期間

9:00~12:00 (5日間)

就労移行支援事業所の  
訓練とは違った  
体験ができました。



### 実習生 の声



**初めての仕事も経験し、自分  
に合う業務を発見しました。**

20代 (アスペルガー症候群)

社員の皆さんに優しく接していただき、安心しました。かなり実践に近い業務を任せていただき、企業から求められる業務レベルと、自分のレベルのギャップを知ることができました。また、実習を通して、ファイリングや過去の資料との照合業務が、自分の得意業務だと実感できました。

### 企業 の声



**実習を積み重ね、雇用を  
実現していきたいです。**

管理部 部長役 小林 靖幸さん

実習生はとても素直な方で、分からないことはすぐ聞いていただけだったので、とても助かりました。当社では、障害のある方の雇用の経験がなく、障害者雇用に躊躇している部分もありましたが、やる気があれば様々な支援を受けながら、実現可能であることが実感できたのは大きな収穫でした。今後は、このような実習の受入れを積み重ねながら社内の理解を深め、雇入れを実現していきたいです。

### 企業 の声



**業務の見直しのきっ  
かけにもなりました。**

管理部管理1課 課長役 石川 達寛さん

実習前の業務の切り出し作業では、各業務の処理時間や業務の頻度等を積算し、切り出すことで得られる効果も明確にすることができました。実習を通じ、障害者雇用のイメージが湧いただけでなく、業務工程の複雑さにも気付き、自身の業務の見直しにもつながる良い経験になりました。

### 企業情報

 **MARUHA NICHIRO  
GROUP**

株式会社

マルハニチロリテールサービス

所在地 東京都中央区入船3-5-10

藤和入船ビル4F

代表者 代表取締役社長 市川 徳英

設立 2005年10月

資本金 8,000万円

従業員 190名 (2021年3月現在)

### 事業内容

- 水産物の輸入・加工・販売
- 加工食品の輸入・製造・販売
- 食品の冷凍並びに冷蔵倉庫業

# 株式会社コータロー

## 障害のある方のパフォーマンスを引き出し、 企業の成果につなげることが大事だと感じた

当社は、製造しているチョコレート製品の原料となるカカオを、カカオ農家さんとダイレクトトレードし、アマゾン地域のカカオ生産者の未来を作る取組をしています。事業を通して社会貢献をするという当社の理念と、短時間就業支援事業の目的が合っていると思い、この事業に申込みをしました。実習の時期が繁忙期と重なり、十分な時間をとって対応できるか不安もありましたが、実習生には丁寧に作業を進めていただき、とても助かりました。実際に雇用する場合は、障害のある方の特性などに合わせて、パフォーマンスを発揮していただける業務を考え、企業の成果につなげていくことが大事だと感じました。

### 実習の流れと工夫

#### 実習内容の検討

・普段、なかなか時間がとれず、手が回っていなかった業務を、実習内容として切り出す。

#### 実習生の決定

・実習場所まで、階段を使用して移動するため、階段での移動が可能な方を実習生の条件に。

#### 実習内容の決定

・支援員から実習生の障害特性を共有、その情報を基に、実習内容を追加で切り出す。

#### 実習開始

・実習生に目標意識を持ってもらうため、毎日、実習生が自ら目標をたて、PDCAを実行。

### 実習を通して気づいたこと

従業員数が少なく、実習時期が繁忙期に重なったため、実習生に対して、丁寧に対応ができるか、実習内容が毎日同じで飽きてしまわないか、という懸念がありました。

実習では、リーフレットの差し込み業務を約1000枚実施していただきました。繁忙期で、対応が後回しになっていた作業だったので、非常に助かりました。実習に向け、いくつかの業務を切り出していましたが、実習生から業務の優先度を確認する質問があり、優先順位に沿って業務を進めてもらいました。毎日同じ業務となってしまいましたが、手を止めることなく、集中して丁寧に作業をしていただくことができました。繁忙期のため、十分な時間をとって対応できない部分もありましたが、無事に実習を終えることができました。

## 実習内容

- リーフレットの差し込み
- リーフレットの袋づめ  
など

### 実習時間

11:00～14:00（5日間）

不備の種類を分類し、  
報告しやすくなるよう  
工夫をしました。



## 実習生 の声



**体力と集中力に自信が付き、  
就職に活かせる経験となりました。**

20代（自閉症スペクトラム）

就業経験・実習経験ともにない中で初めて尽くしの実習でしたが、集中力を持続して取り組むことができました。目標としていた「体力を保つことができるかを確認する」、「時間を意識して行動する」ことを達成できました。工夫した事は、いつもより準備の時間を早め、時間に余裕を持ったことです。1日お休みを挟んだ実習でしたが、しっかり気持ちを切り替えて休むことができ、お休みの後も安定して実習にのぞめました。また、この実習で自分の集中力の高さが自分の長所であることがわかり、自信につながりました。

## 企業 の声



**繁忙期スタッフとして活躍して  
いただくイメージができました。**

管理部長 小林 直登さん

毎日、とても丁寧に作業をしていただき、安心して業務をお任せすることができました。社会人経験がない中で、自身でPDCAを回していたのは本当に素晴らしいことだと思います。日々実習生が成長していくのを感じ、この実習を行って良かったと思います。また、障害者雇用を行う際は、障害のある方の特性や性格を鑑みて、どんな業務が一番パフォーマンスを発揮して頂けそうか、どれだけ成果が上がれば企業にとってメリットとなるのかを考えることが大事であると思いました。すぐに当社で雇用をすることは難しいですが、繁忙期の短期スタッフとして活躍していただくイメージを持つことができました。

## 企業情報



株式会社コータロー

所在地 東京都港区赤坂3-8-8  
赤坂フローラルプラザ1階  
代表者 代表取締役 江澤 孝太郎  
設立 2013年2月  
資本金 100万円  
従業員 10名（2021年3月現在）

## 事業内容

■ オーガニックアribaカカオ専門  
「MAMANO CHOCOLATE」の製造・  
販売

# 株式会社フラッグシップオーケストラ

## 実習を通して、アウトソーシングとの違いを把握

### 実習生の丁寧なチャットの受け答えが勉強になった

当社は動画制作を行っており、制作した動画に不具合がないか確認する作業を、障害のある方にアウトソーシングしています。事業の拡大に伴い、今後、従業員が増えていくことを見据え、障害者雇用を経験してみたいと思い、短時間就業支援事業に申込みをしました。新型コロナウイルス感染症の流行によりフルリモートで就業していたため、実習もテレワークで行いました。実習生とのやりとりはチャットを使用しましたが、実習生のチャットでの受け答えがとても丁寧で勉強になりました。また、直接雇用する場合は、業務を指示する担当者だけでなく、業務以外の部分についてフォローする担当者も必要であると感じました。

#### 実習の流れと工夫

##### 実習内容の検討・決定

- ・アウトソーシングで経験済みの、動画のバグチェックを実習内容として決定。
- ・担当者がチェックしやすい動画を選別し、実習生に指示。

##### 実習生の決定

- ・支援者の協力を得て、実習前に研修等を実施。  
(情報漏洩リスク研修、テレワークの心得、チャットやテレビ電話等のオンラインのコミュニケーションツールの設定、動画のチェック方法のデモンストレーション等)

##### 実習生のテレワーク環境整備

##### 実習開始

- ・担当者の実習生の専用チャットルームを作り業務開始。
- ・担当者からの業務指示やアドバイス、実習生からの報告、質問等は全てチャットを使用。

#### 実習を通して気づいたこと

アウトソーシングという形で、障害のある方と働いているので、接し方や業務遂行に対する不安はありませんでしたが、タイミングよく、動画をお渡しできないかもしれないという懸念がありました。

実習担当者も、自分の担当業務を行いながらの実習を行ったため、やはり、動画をタイミングよくお渡しすることはできませんでしたが、空いてしまった時間をどう有効に使うか、実習生が自分で考え、行動してくれたのでとても助かりました。実習生はチェックが丁寧なだけでなく、チャットでの言葉遣いも非常に丁寧でした。また、報告内容も簡潔で分かりやすかったので、実習中、とてもスムーズにコミュニケーションを取ることができました。

## 実習内容（テレワーク）

■ 動画のバグチェック  
(字幕の誤字脱字、雑音、画像  
乱れ等の確認)

### 実習時間

12:00～16:00（5日間）

納期のある業務だったので、期限を意識して作業しました。



実習生  
の声



実際に不具合を発見し、  
達成感がありました。

20代（社会不安障害）

集中して実習を行うことができ、実際に不具合を発見した時は達成感がありました。動画を扱う仕事は初めてでしたが、このような仕事も自分に合っているかもしれないと思いました。今回はチャットでコミュニケーションを取りましたが、文字を打つ時失礼がないか気を遣う必要があることを学びました。丁寧にレスポンスも早く、スムーズにコミュニケーションが取れているというフィードバックもいただき、自信がつかしました。

企業  
の声



管理体制の構築が課題  
だと気づきました。

制作部 事業部長 兼  
執行役員 小澤 良隆さん

作業がとても丁寧に進捗状況もしっかり報告していただき、戦力として活躍していただきました。実習生には、チェックしやすい動画を選別してお任せしましたが、もう少し難易度の高い動画にもチャレンジしてもらえば、空き時間を減らすことができたと思いました。実際に雇用する場合は、業務を指示する担当者だけでなく、業務以外の部分をフォローする管理者を置く必要があると感じました。

担当者  
の声



チャットの受け答えが丁寧で参考になりました。

制作部 高木 光陽さん

実習生のチャットでの受け答えが非常に速く丁寧で、とても勉強になりました。当社はクライアントとチャットでコミュニケーションを取るのので、新入社員のコミュニケーション教育の参考にさせていただきたいと思います。

### 企業情報

Flagship Orchestra



株式会社フラッグシップオーケストラ

所在地 東京都品川区西五反田  
7-22-17 TOCビル11F  
代表者 代表取締役 大澤 穂高  
設立 2014年4月  
資本金 250万円  
従業員 37名（2021年3月現在）

### 事業内容

- 格安大量動画制作サービス「ムビラボ」の運営
- 動画広告、動画マーケティングサービス「ムビラボアド/マーケ」の運営
- 動画メディア事業の運営、企画

# ボードレスキャリア株式会社

## テレワークで離れていても、同じ目標を目指す

### 仲間という意識を持つことができた

当社は、自己肯定感が低く、働くことに不安を抱えている若者に特化した、就職と定着のサポートを行っています。自社で障害者雇用の経験がなかったため、実習を通して障害者雇用の経験を積みたと思いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、フルリモートで就業をしていたため、テレワークで実習を受入れました。4名の実習生を順番に受け入れましたが、仕事をする場所が離れていても、それぞれの実習生の個性がわかり、仲間という意識をもって業務を行うことができました。

#### 実習の流れと工夫

##### 実習内容の検討・決定

- ・テレワークでも可能な、納期のない業務を切り出す。
- ・実習をスムーズに進めるため、作業マニュアルを作成。

##### 実習生の決定

- ・支援者の協力を得て、実習前に研修等を実施。  
(情報漏洩リスク研修、テレワークの心得、チャットやテレビ電話等のオンラインのコミュニケーションツールの設定等)

##### 実習生のテレワーク環境整備

- ・同じ目標を目指す仲間として、初日に業務の意義や目的を説明。

##### 実習開始

- ・実習生がつまづきやすい箇所について、作業マニュアルの見直しを行い、その後の作業件数がアップ。

#### 実習を通して気づいたこと

実習中、実習生から沢山質問がきて、自分の業務がままならない状態になるのでは、という不安がありました。

支援者の実習前からのサポートもあり、当初の不安は杞憂に終わりました。実習担当者としては、実習の最初の2日間はコミュニケーションツールに慣れていただくことに重点を置きました。また、「分からないことがある時は、まずマニュアルを見る」、「回答を待っている間は先に進める」といったアドバイスをしました。その結果、実習の後半は、ほぼ質問もなく、前日までの経験をもとに、実習生が自分で判断しながら業務を進めていくことができるようになりました。



## 実習内容（テレワーク）

- 他社のHP上の問い合わせフォームに必要事項を入力し、送信する作業

### 実習時間

3名 10:00～15:00（5日間）

1名 10:00～15:00（8日間）



### 実習生の声

#### 就職に活かせる経験となりました。

50代（躁うつ病）

相談することが自分の課題だと再認識でき、今後は、訓練の中でも「周りを見て確認をする」、「マニュアルや説明書を読んで自己解決する」ことに取組んでいこうと思います。

#### 業務の大切さを実感しました。

40代（双極性感情障害、転換性障害）

最初は不安もありましたが、業務に慣れてきてからは、ある程度自分で判断し、業務を進めていくことができました。業務の大切さを自覚し、企業に貢献したいという思いが強くなりました。

#### 自信につながりました。

50代（気分変調障害）

初めは、オンラインツールの使い方に手間取り、不安がありましたが、メモを見直したり、復習を行うことで、3日目以降からは使いこなすことができ、自分でもできると感じました。

#### 自分で分析して業務を行いました。

30代（うつ病）

今回経験した「自分で考えながら業務を進めること」、「チャットでのコミュニケーション」はどんな勤務形態でも活かせると思いました。

### 企業の声



#### 離れていても一緒に働く仲間だと感じることができました。

代表取締役社長 高橋 大和さん

テレワークでの実習でしたが、実習生とオンライン上でコミュニケーションをとるうちに、それぞれの人となりが分かってきました。実習生が「当社の思いに共感し、貢献したい」という思いを持って業務に取組み、結果を出していく姿を見て、離れていても仲間という意識を持つことができました。業務の切り出しという事も大切ですが、一緒に目標に向かって働いているという感覚が大切だと感じました。今後は直接雇用だけでなく、アウトソーシングも選択肢の一つとして検討していきたいと思えます。

### 企業情報

## ステップ就職

ポータルキャリア株式会社

所在地 東京都新宿区市谷田町2-17  
八重洲市谷ビル6F

代表者 代表取締役社長 高橋 大和

設立 2017年5月

資本金 2000万円

### 事業内容

- 働くことに不安がある若者に特化した人材紹介、定着サポート事業
- 「ステップ就職」の運営

令和2年度  
短時間就業支援事業事例集

雇用就業部ホームページ TOKYO はたらくネット  
<https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/>



令和3年5月発行

編集・発行 東京都産業労働局雇用就業部就業推進課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

☎03-5320-4663